

## 令和5年度第1回可児市外国籍市民会議 議事要点録

1. 開催日時 令和5年12月17日(日) 午前10時から午前11時30分

2. 開催場所 総合会館2階会議室

3. 出席者

(1) 外国籍市民委員 5名 (敬称略・国籍別50音順)

浜口 旭波(中国)

岡田 オフェリア(フィリピン) 林 リナ(フィリピン)

岸本 由美(ブラジル) 佐藤 百合香(ブラジル)

(2) 事務局 5名

地域協働課長 田島 純平

人権・国際係長 木村 彰伯

人権・国際係 加藤 エジソン 照山 彩乃 梅村 萌

4. 内容

(1) 開会

地域協働課長あいさつ、自己紹介

(2) 委員長・副委員長選出

委員長：浜口 旭波 副委員長：岸本 由美

(3) 議題 やさしい日本語について

事務局) やさしい日本語についての説明

①日本語を聞くとときに難しいと感じることは何か。

委員長) 日本語のニュアンスが難しい。言わなくてもその言葉の中にはこういうニュアンスを含んでいるというのをくみ取るのが難しい。通訳をしているが、ニュアンスをうまく伝えることが難しいので自分の言葉で理解をして、相手に確認をしてから通訳するようにしている。

委員) 「言わなくても分かるよね」など、こちらの意見をくみ取ってくださいと察することは確かに難しい。最後まで言わなくても相手に理解を求めていると感じる。他にも敬語が難しいと感じる。日本人の方は失礼のないようにすごく丁寧な言い方をしてくれていると思うが、外国籍の方には伝わりづらいと思う。ストレートに言っただけの方が分かりやすい。私たちは失礼だとは思っていない。

事務局) 地域協働課の窓口にもたくさんの外国籍の方がみえる。昼休みだと、通訳が食事に出ていて、窓口にいない時に「今、お食事に出ているのでいません。」などやはり丁寧になってしまう。「ランチブレイクです。」など少しフレンドリーに言うと日本人に対しては失礼に当たると思うが、外国籍の方にとっては分かりやすく伝わりやすいのではないかな。

委員) 他にも例えば、「児童玄関からお入りください。」など、「児童」が分からないから、「自動」と勘違いもしてしまう。「登下校」も、行く時間、帰る時間の方が伝わると思い、学校の先生にも提案はするが、学校の先生方はそのような言い方は失礼だと思ってしまうようだ。

委員) 名前を聞くときにも、「お名前をお伺いしてもよろしいでしょうか。」などと聞かれても分からない。「お住まいはどちらですか。」よりも、「アパートの名前を教えてください。」の方が分かりやすいし、「年齢」も「何歳ですか。」の方が答えやすい。

委員) 難しい日本語を使うし、表情も硬いので怒っているのかなと捉えてしまうこともあり、それ以降シャットアウトしたり、分かっているなくても分かっていると断ったりして、早く終わらせようとしてしまう人もいる。

委員) 敬語が分かりづらく聞き返したときに、言いまわしを変えずに声を大きくして、同じことを何度も言われた経験があるが、声を大きくするだけでは分からないと思う。

委員) でも相手のレベルに合わせて日本語を使うことも大切だと思う。結構話せる人に対して、小学生に話すような日本語で話していると失礼に当たることもあるかもしれない。日本人ではないと分かった瞬間に、すごく優しくゆっくり話しかけてくる人もいるが、そのような対応が必要ないこともある。難しいとは思いますが相手によって使い分ける必要があると思う。人によっては、繰り返し言われたり、ゆっくり話されたりするとプライドが傷つくとまではいかないが、嫌な気持ちにさせてしまう可能性もあるので気を付けなければいけない。

委員) 外国籍の人は、ビジネスのようなかしまった感じよりも友達感覚で話をする方がいいかもしれない。ビジネス用語ばかりではなく、表情も豊かで柔らかい方が良い。日本人はビジネスの場で笑ってはいけない、きっちりしなければいけないと考えがちだと思うが、それが相手にとってプレッシャーに感じさせてしまうこともある。

事務局)皆さんの意見を聞いて、丁寧すぎる日本語や敬語もあまり必要ないのではないかと  
思う。

②特に難しいと感じたことがある日本語の書類はあるか。それはどんな書類か。

委員)外国籍の方は名前が長い方も多く、書類の名前を記載する欄がもう少し広いと良い  
と思う。

委員)専門用語など、説明の時に短縮して説明されると、分かりづらい。ネットで意味を  
検索してもヒットしないので、どういう意味なのかなと思ったら、「～と～が合わ  
さった言葉なんだな。」と分かることもある。

委員)先ほども出た、意向をくみ取るという意見と同じだが、例えば、「ご遠慮ください。」  
「できればこの期日までに」とあると、「遠慮しなくてもいいんだ」「できないからそ  
の日付に出さなくてもいいんだ。」と捉える人もいる。

委員)日付などは特にはっきり言った方が良いと思う。回りくどく言うのではなく、スト  
レートに言った方が伝わる。

委員)そのような曖昧な言い方は、相手に決定権を渡したり、決めつけたりしないという  
メリットはあるが、外国籍の人は尺度が分からないので、日付などははっきり伝え  
たほうが良い。

委員)日本文化を理解してもらうのも大事だとは思うが、通訳にも限りがあり全てを通訳  
がやってくれると思ってもらっても困るので、日本に住んでいる以上、日本の文化  
を理解してもらうことも大切だとは思う。

委員)長すぎる文章は読まない。大事なところは色付けをするなど良いと思う。

③市役所で、やさしい日本語での説明や案内があったほうが良いと思うか。それはどんな場  
面か。

委員)説明や案内は短いほうが良い。書類と同じで長いと読まない。

委員)漢字には振り仮名があったほうが良いと思う。平仮名ばかりやカタカナばかりの文  
章も分かりづらい。また、漢字には振り仮名があると覚えやすいし、勉強にもなる  
と思う。カタカナは分かりにくいので、平仮名の振り仮名の方が良いのではないか。

委員) 時間表記も迷うことがある。フィリピンでは 24 時間表記をしないので、13 時からなどと記載されると「13 時は午後何時? 3 時なのかな。」と勘違いしてしまうこともある。am、pm で全て表されるため、学校の懇談の時間なども勘違いが起きやすい。

委員) ブラジルでは 24 時間表記をする。

事務局) 国ごとで違うということですね。

委員) 令和や平成などの元号が分からないので、窓口に西暦何年は元号何年にあたるなどの簡単に分かる表がある良いと思う。書類に和暦で書くことがあると、子どもの生まれた年も分からなくなることがあるので。

事務局) 自治会や子供会について、意見を聞きたい。また、ごみの出し方についてだが、各国でごみを出す日は決まっているのか。

委員) 中国は地方によって違う。いつでも出せるようになっていて、一日に何回も回収される。

委員) フィリピンでは、車の渋滞があったり、時間を守らなかったりもするので、何時に来るのか分からない。みんなとにかくごみ出している。

委員) フィリピンでは生活レベルによって違うと思う。富裕層は、時間を守ったりしているが、そうでないとごみ出しの時間も守られない。

委員) 例えば可児市に引っ越してくると、ごみ出しについても説明があると思う。ごみのカレンダーやごみ袋も渡していると思うが、窓口に来た外国籍の人の住んでいる地域を確認し、カレンダーを示しながら何日がごみ回収日だと確認をしたほうが良いと思う。また、すぐーるで、項目にチェックをすれば不燃ごみ回収日だという通知が来たりするので、それも伝えたほうが良いのではないか。

委員) ウェルカムセットを渡す時に、ごみ出しのカレンダーに丸を付けて、相手にとって明確にさせたほうが良いのかもしれない。粗大ごみのシールも、必要であると分かっている人もいない人もあると思う。どこで買うかなども一緒に説明すれば分かるのではないか。

委員) また、短い動画などを見せた方が、分かりやすく印象がつけられると思う。

事務局) 委員の皆さんの国では、自治会のようなコミュニティはあるか。

委員) フィリピンでは、住んでいる地域による。富裕層が多い地域では、お金を出さなくてもやってくれる人がいる。そうではない地域は、やらない人が多い。

委員) 子供会でもそうだが、外国籍の人も当たり前知っているという程で、話を進めているので、一から説明をしないと分からないこともある。説明があると、理解して参加するようになると思う。

委員) ブラジルでは、自治会に似たコミュニティがあったので、慣れている。

委員) 自治会に入らなかつたり抜けたりすると、何か言われたりする話を聞くとかわいそうだと思う。

委員) 中国では子供会も自治会もなかった。日本に来て、自治会や子供会がどのようなものか説明があったので、今加入している。

事務局) 本日の会議で話を聞いたように、色々な場面でやさしい日本語が必要になってくると思う。学校現場や、市役所、通訳がいる会社など外国籍の方とコミュニケーションをとるにあたって、仕事上やプライベートでも簡単に情報を伝えることができるガイドブックのようなものを来年度以降作成できたらと思う。その際はまた委員の皆さんの力を貸してほしい。

#### (4) その他

事務局) 説明

今後のスケジュール、次年度の委員の公募について

11 時 30 分閉会